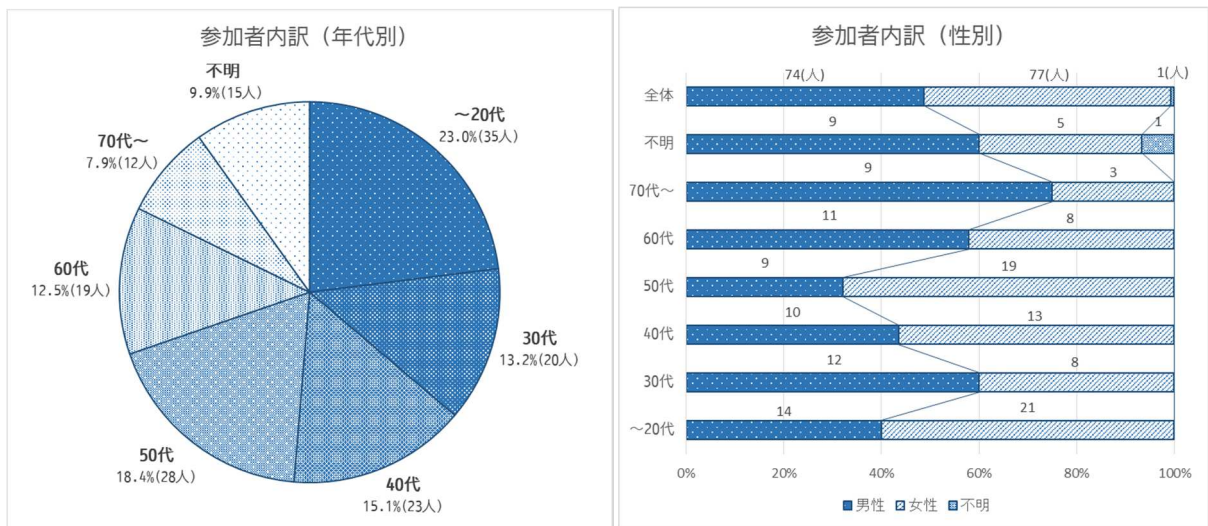


あすまち会議こおりやま 2020 について

■実施概要

- 参加者：152名（無作為抽出した市民約5,500名に通知）
- 手法：非接触型（メール、かんたん電子申請、郵送など）で意見聴取
- 開催期間：2021年1月6日（水）～1月26日（火）
聴取した意見は本市HPやYouTubeにより、随時公表
⇒2021年度中のあすまちこおりやま(郡山市まちづくり基本指針)の中間見直しに活用



参加者内訳（人）

性別/年齢	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	不明	合計
男性	14	12	10	9	11	9	9	74
女性	21	8	13	19	8	3	5	77
不明	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	35	20	23	28	19	12	15	152

- 20代以下の方から70代以上の方まで、幅広い年代の市民の方にご参加いただきました。
- 参加者の性別で見ると、男性74人、女性77人と参加者の性別による偏りは見られませんでした。

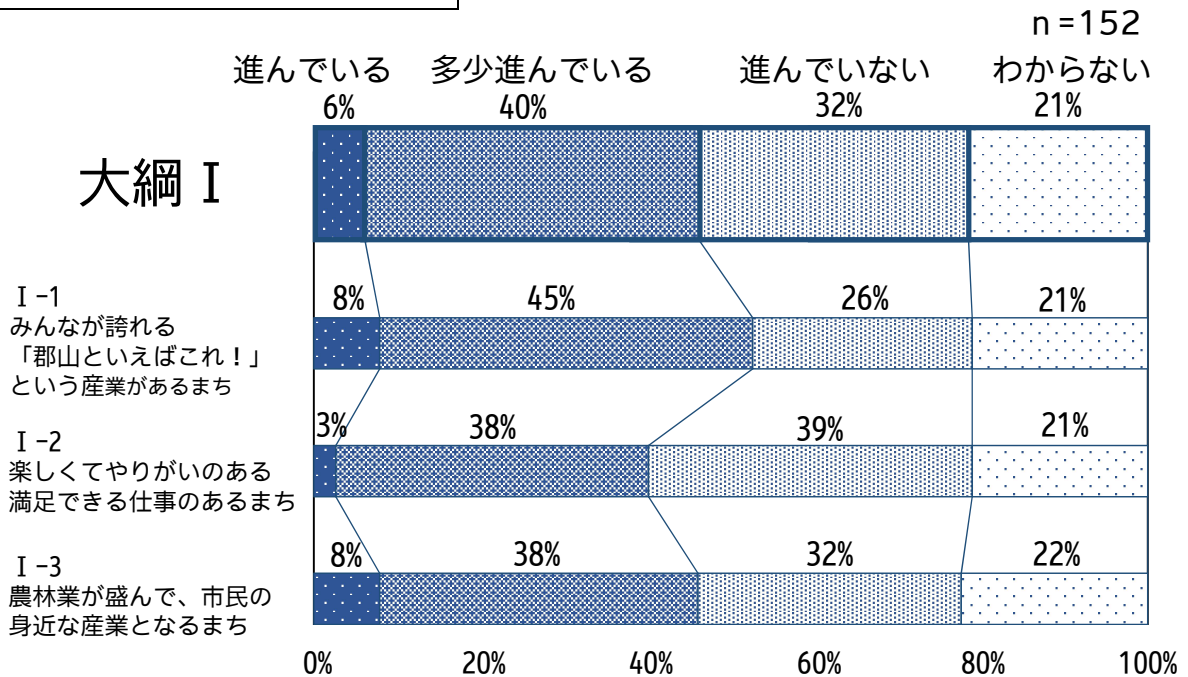
■結果概要

(1)大綱別市民実感

市民の皆様が実感する、各施策の将来構想実現に向けた取組の進捗度合（生活実感度合）について、以下の区分によりご回答いただきました。

1.進んでいる 2.多少進んでいる 3.進んでいない 4.わからない

大綱 I 産業・仕事の未来



「大綱 I」全体では半数近くの 46%の方が進捗を実感しているが、「I-2」雇用分野では「進んでいない」と感じる方も多く、さらなる対応が求められている。

■「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見

- ・郡山西部第一工業団地の開発及び補助による企業誘致など、一定の効果が出ている。
- ・若い世代が作るお店（カフェ、服屋）が増え、まちに活気が出てきた。
- ・郡山にはたくさんのブランド野菜があり、食が豊かである。

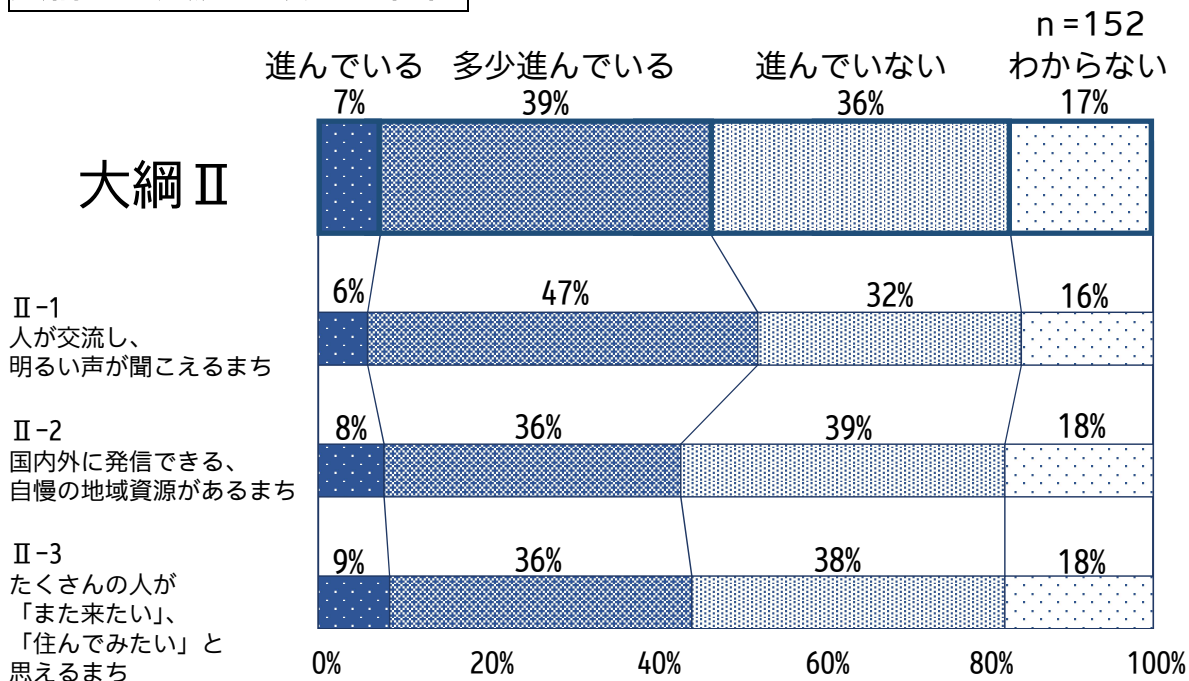
■「進んでいない」と感じる方の主なご意見

- ・県外からの観光客やUターンによる人の流れが増えるような商業施設があるとよい。
- ・高齢者や障がい者も含め、誰もが安心して働ける仕事を増やしてほしい。
- ・新規就農者が求めている「稼げる農業」を実現してほしい。

■「わからない」と感じる方の主なご意見

- ・郡山市の産業の特性がわからないため、さらなるPRが必要ではないか。

大綱Ⅱ 交流・観光の未来

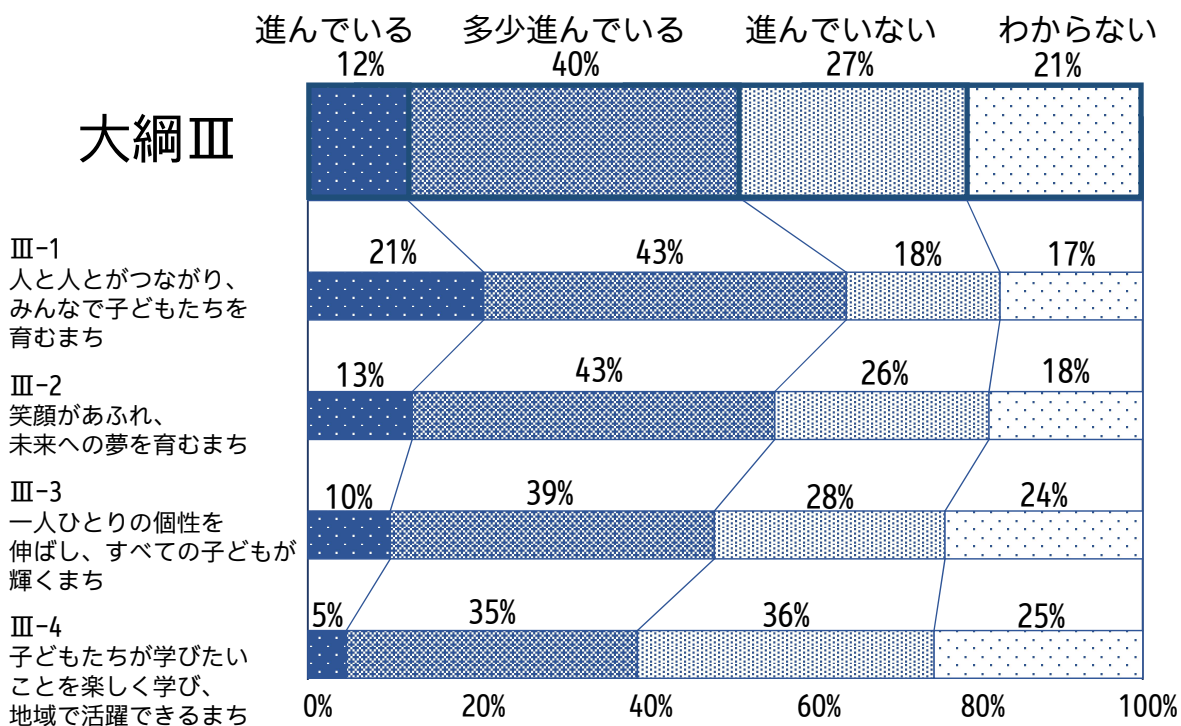


「大綱Ⅱ」全体では半数近くの46%の方が進捗を実感しており、地域製品のPRや交流人口・関係人口の拡大に向けたさらなる取組が求められている。

- 「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見
 - ・和菓子をはじめ食に関する地域資源が豊富で、郡山市のお土産は非常に喜ばれる。
 - ・安積疎水や安積開拓の歴史は全国的に知名度が高いと思う。
- 「進んでいない」と感じる方の主なご意見
 - ・高齢者ならテレビや新聞、若者ならSNSなど、年代に合わせた情報発信ツールの使い分けをしてはどうか。
 - ・全国から人が集まる印象的な観光名所があるとよい。
- 「わからない」と感じる方の主なご意見
 - ・コロナ禍で人の移動が限られており、交流・観光面での進捗がわかりにくい。

大綱Ⅲ 学び育む子どもたちの未来

n=152



「大綱Ⅲ」全体では 52%の方が進捗を実感しており、特に「Ⅲ-1」、「Ⅲ-2」の子育て、保育分野では高い進捗度となった。

■ 「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見

- ・子育て世帯向けの施設がたくさんあるなど、子育てに力を入れていることがわかった。
- ・小学校でのタブレット配備が急ピッチで進められた。

■ 「進んでいない」と感じる方の主なご意見

- ・多様な働き方の促進に向け、夜間・24時間保育を導入してほしい。
- ・アクセスの良さを生かし、子育て世帯の流入につなげる必要がある。
- ・インクルーシブ教育など、差別のない、児童が相談しやすい教育環境を目指してほしい。

■ 「わからない」と感じる方の主なご意見

- ・地域の学校の魅力が若者に伝わっていないと思う。そのために若者が首都圏の学校に進学するのではないか。

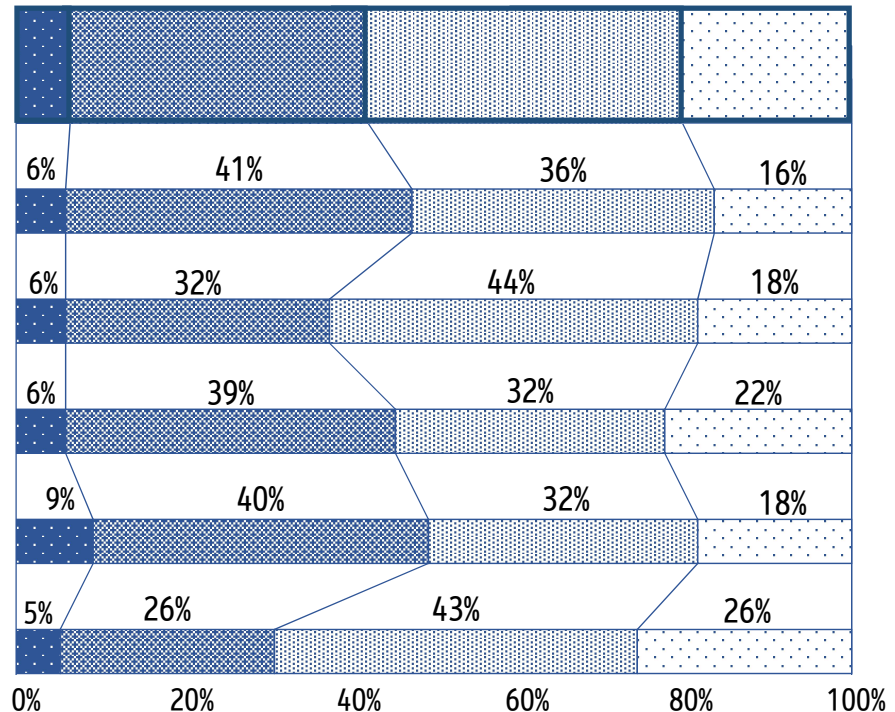
大綱Ⅳ 誰もが地域で輝く未来

n = 152

進んでいる 6% 多少進んでいる 36% 進んでいない 38% わからない 20%

大綱Ⅳ

- Ⅳ-1
市民生活に活気があり、
地域で楽しく元気に
暮らせるまち
- Ⅳ-2
好きなこと、得意な
ことを地域で学び
生かせるまち
- Ⅳ-3
市民が互いに支えあい、
一人ぼっちにならないまち
- Ⅳ-4
誰もが健康で生きいきと
暮らせるまち
- Ⅳ-5
女性が元気で
活躍できるまち



5つの大綱の中で進捗実感が最も低く、特に「Ⅳ-2」地域での学びや「Ⅳ-5」女性活躍の取組が求められている。

■ 「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見

- ・高齢者を中心に活気があり、暮らしやすいまちである。

■ 「進んでいない」と感じる方の主なご意見

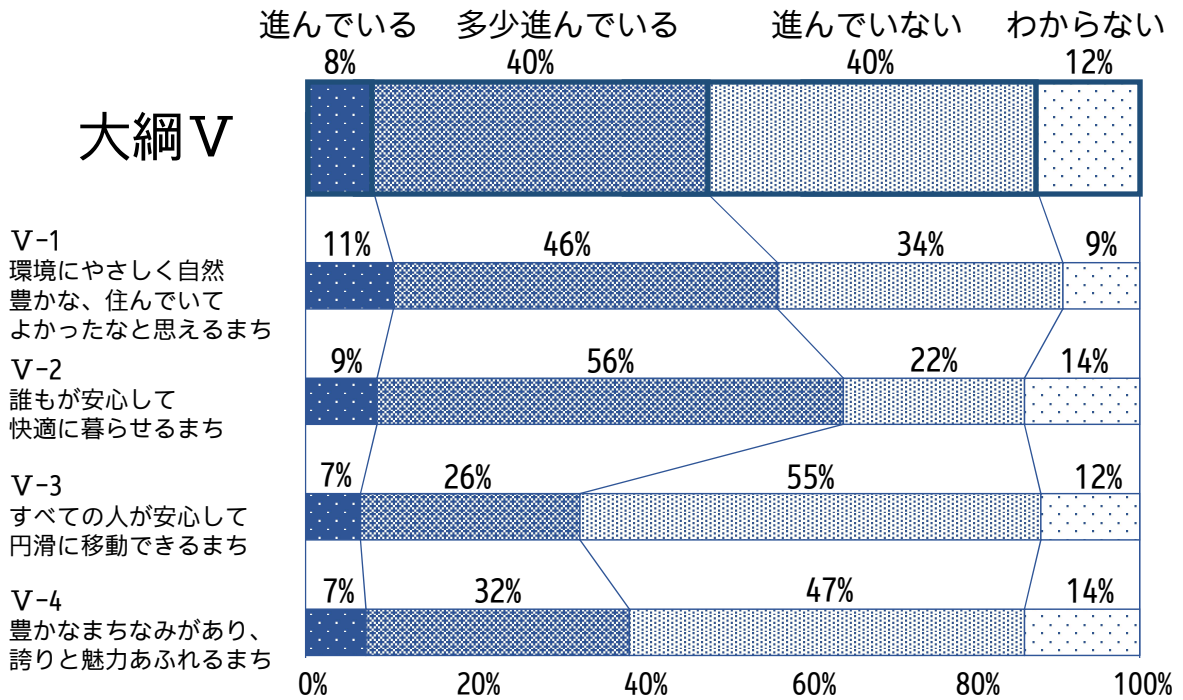
- ・町内会がさらに協力し合える体制づくりが必要である。
- ・女性や高齢者が快適に活躍できる社会にしてほしい。

■ 「わからない」と感じる方の主なご意見

- ・市の取組の進捗がわからないのは、市民が傍観者になっているからではないか。市民のさらなる社会参画を促す取組が必要である。

大綱V 暮らしやすいまちの未来

n = 152



各分野での進捗実感にバラつきが見られる。セーフコミュニティ活動の推進により「V-2」安全安心な生活への進捗実感は高いが、災害の影響もあり、「V-3」円滑な交通の確保などへの取組が求められている。

■ 「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見

- ・程よく田舎と都会の中間にあり住みやすいまちである。
- ・水害対策の工事や笹川大善寺線の開通により利便性が向上した。

■ 「進んでいない」と感じる方の主なご意見

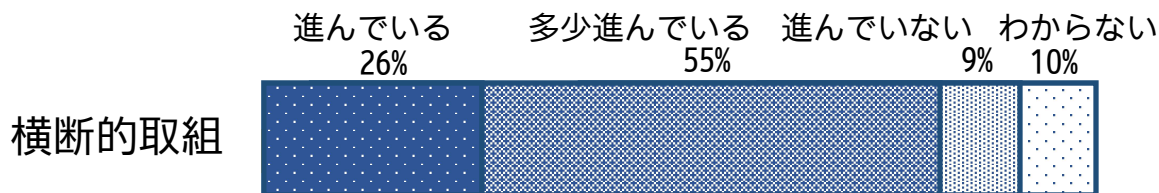
- ・台風やコロナ禍だからこそ災害に強いまちづくりの重要性を実感した。
- ・交通量の多い交差点の渋滞を解消してほしい。

■ 「わからない」と感じる方の主なご意見

- ・誰もが利用しやすい公共交通機関になっているとは実感できない。

横断的取組 復興・創生の更なる推進

n = 152

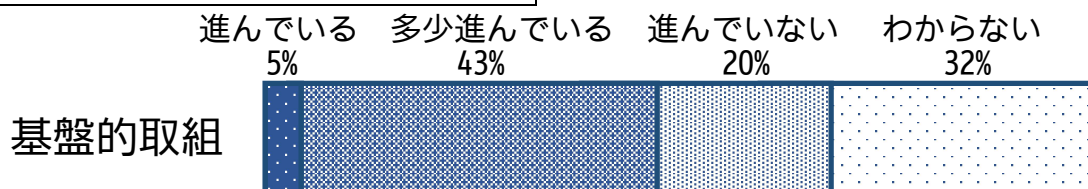


■「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見

- ・除去土壌搬出は90%とのことだが、私の住んでいる地区では完了しておらず、実感として半分くらいの進捗を感じる。

基盤的取組 行政経営効率化 等

n = 152



■「進んでいる」または「多少進んでいる」と感じる方の主なご意見

- ・広域圏各自治体を尊重しながら、広域的・長期的視点で協力してほしい。

■「進んでいない」と感じる方の主なご意見

- ・手続きのデジタル化による簡素化を推進してほしい。

■「わからない」と感じる方の主なご意見

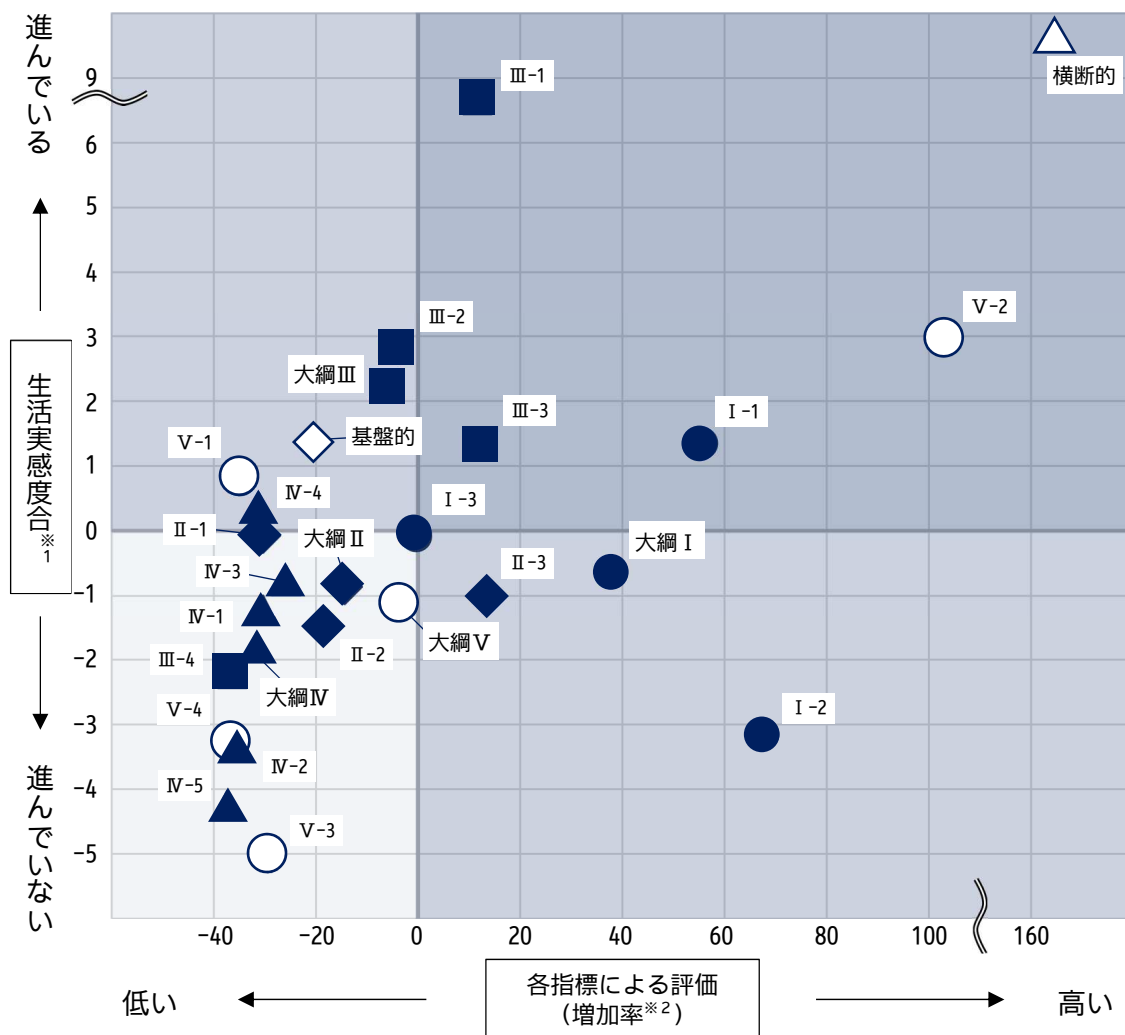
- ・市は様々な取組をしているにも関わらず認知されていないため、さらなるPRが必要ではないか。

(2) 散布図

先にお示した「各指標による評価」と、今回皆様にご回答いただいた「生活実感度合」の関係性について、散布図として整理しました。

概ね「各指標による評価」が低い分野は市民の「生活実感度合」も低い傾向があり、引き続き正確な進捗把握と市民の皆様への説明責任の確保に努めていきます。

図：「各指標による評価」と「生活実感度合」の散布図



※1 以下の区分により、各大綱・施策ごとに進捗の実感度合いを数値化し、平均値を求めた上で、全体の平均値(74.0)からの開きを数値化しました。

【区分】進んでいる=100点、多少進んでいる=80点、進んでいない=60点、わからない=0点

※2 各大綱・施策ごとに、指標の現況値(2019年度)と施策実施前の初期値(2017年度)の増加率の平均値を求めた上で、全体の平均値(33.4)からの開きを数値化しました。